

茂企財第1号  
令和5年4月5日

茂原市監査委員 風戸 博恭 様  
茂原市監査委員 山田 広宣 様

茂原市長 田中 豊彦

監査結果に対する措置通知書

地方自治法第199条第14項の規定により、監査の結果に基づき措置を講じたので、通知いたします。

(対 令和4年11月28日 付け茂監第132号)

企画財政部	財政課
監 査 結 果	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 予算編成にあたっては、既成概念にとらわれることなく既存事業や補助金等の積極的な見直しを図るよう各課に周知徹底するとともに、成果指標に基づく事業効果を考慮した予算査定の実施についても検討されたい。</li><li>・ 予算に執行残額が発生した場合は、適宜補正し、市民サービス向上のため有効に活用されたい。</li><li>・ 長生郡市広域市町村圏組合の事業実施に伴い負担金の大幅な増加が見込まれることから、財政的な見地から企画政策課等関係部署と連携を図り、健全で安定的な財政運営に努められたい。</li><li>・ 債権管理の一元化については、段階的な実施も検討し、庁内関係部署と協議しながら、スケジュールを明確にしたうえで、着実に進められたい。</li><li>・ 各事業の実施にあたっては、財源確保の観点から所管課とともに国・県の補助事業に係る情報を的確に把握しながら、事業内容や施行方法の検討等を行い、積極的に補助金の確保に努められたい。</li></ul>	

## 措 置 内 容

・既存事業や補助金等の見直しについては、予算要求時等に、「事業の選択と集中」の観点から依頼しており、今後も継続して見直しを図っていく。

また、令和5年度当初予算については、庁内で実施している行政評価等を活用し、事業効果を考慮した予算査定を実施した。

・状況に応じて、市民サービス向上のため予算の執行残額を有効に活用した。

・企画政策課等関係部署と連携し積極的に情報収集に努めた。今後も将来負担の平準化等について、長生郡市広域市町村圏組合や構成町村と協議を継続していく。

・債権管理の一元化については、庁内関係部署と協議を行っており、段階的な実施に向け、準備を進めている。

・国県支出金の情報については所管課とともに県等と連携を密にとった。引き続き情報収集に努め、財源確保を図っていく。